



静岡県地方版  
第357号  
2021-9-15

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
〒427-0034  
静岡県島田市伊太  
1301-18早崎方  
TEL・FAX  
0547(36)4014

私 たち の  
運 動 の 基 本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法体制の復活に反対する

一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること

一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

## 激動の時代を行く

県本部理事 森下 厚司

東京五輪は八月八日閉幕しました。招致を巡る金銭疑惑や女性差別発言・いじめの自画自賛・ユダヤ人大量虐殺をお笑いユニットにするなどで数人の組織委員会役員が辞任した中で開かれた異常な幕開けでした。また、新型コロナウイルス対策で無観客で行われましたが、政府の「安全・安心」の掛け声とは裏腹に、変異株の感染が拡大し、全国に爆発的感染が広がる事態が進行しました。このようなものでは、パラリンピックも中止すべきことでした。

マスコミでは、東京オリンピックが無理矢理やられたのはIOCが多額の放送権料を失いたくないからとか、菅政権が、大会を中止するより強行して、日本選手が金メダルを大量に獲得すれば、十月には期限の来る総選挙で浮上できる思惑があるからではないかなど……と、詮索

されました。

八月六日、原水爆禁止の広島市平和祈念式典では、菅首相はあいさつ文を大幅に読み飛ばした挙句、松井一實市長が、日本政府に、一月二十二日に発効した「核兵器禁止条約」への参加を呼びかけましたが、参加を拒みました。

コロナ対策では、ワクチン接種だけに重点を置いたのに、ワクチンが不足気味。PCR検査では100万人あたり143位(8/7)と世界の中でも遅れていました。政府は必要なことはすべてやるべきです。

このところ支持率が低迷している菅内閣ですが、ひっ迫する総裁選や衆議院選挙で、あの手この手の画策を許してはなりません。

総選挙は間近に迫っています。日本共産党の志位委員長は、市民と野党の共同で勝利を……と訴えています。四野党の共通政策での合意も出来ました。私たちも市民の力を結集し参加していこうではありませんか。

(浜松市・もりした あつし)

### 第十三回県本部理事会を開催

延期した第38回県本部大会の持ち方と当面する課題についての意思統一をはかるための第13回県本部理事会が9月14日、静岡国労会館において県本部理事12人の参加のもとに開催されました。

最初に江川会長が開会あいさつ。「情勢が大きく変わり、菅自公政権は、国民の世論と運動に追い詰められ、自民党の総裁選に出馬しないことを表明、事実上の退陣表明を行った。わが同盟中央本部会長声明でも、安倍政権を引き継いだこの数々の『悪政』に対する国民の厳しい批判が表面化したものだ」と指摘し、総選挙を『市民と立憲野党の共同』による政権交代のチャンス」ととらえ、『野党連合政権』を誕生させるために奮闘することを呼びかけている。同盟が長く要求してきたことが『野党連合政権』によって実現可能な素晴らしい時代になってきている。ともに頑張っていきましょう」と訴えました。これに続いて山田副会長が情勢報告、早崎事務局長が県本部大会の持ち方および当面の課題について報告しました。

情勢報告では、1、菅首相の政権投げ出し 2、安倍・菅自公政治の致命的欠陥―命を守る新しい政権を 3、国際情勢と国際問題 4、国会での動き、市民と野党の共闘の前進、総選挙への4点について語られました。

1点目では、①コロナ対応の無為無策 ②強権政治 ③腐敗政治の問題を指摘、誰が自民党の新総裁になっても日本の

政治は変わらない。政権交代ししないと語った。

2点目では、①科学を無視し ②国民に説明しない ③コロナ対応にまで『自己責任』論を持ち込んだことを指摘、ワクチン接種と一体に、医療・検査・補償の抜本的対策の必要性を述べました。

3点目では、①スリランカ女性の入管施設での死亡問題 ②世界的に人権や人種差別問題が問われていること ③アフガン政権の崩壊とタリバンによる首都制圧 ④辺野古新基地建設でサンゴの破壊が進んでいる問題が指摘されました。

4点目では、野党の臨時国会開催要求を菅政権が無視しつづけている問題、横浜市長選で野党の共同候補が勝利し菅政権に大きな打撃を与えるもとで総選挙が迫り、野党の共通政策の実現で野党共闘の前進がはかられていることが示されました。

### 第38回県本部大会は十一月末に

延期した県本部大会はコロナ感染の状況や総選挙の日程なども考慮しながらオンライン開催を含めて11月27か28日に開催することとし、改めて次回10月の県本部理事会で検討することにしました。なお、延期した県本部大会に向けて静岡県評、国民救援会県本部、新日本婦人の会県本部から連帯のメッセージが寄せられていたことも報告されました。

### 私と国賠同盟

中部支部 池田 馨

若者からの「76年前に戦争があったことを知っているか」というアンケートで30%が「知らない」と答えていることを聞いて驚いた。肉親さえも確と覚えていなければ当然だ。八月六日九日の原爆で十数万の人々の死がおとぎ話のように裏覚えなのだろうか。

戦争は人を殺し殺される大事件。相手も人間、彼らを敵と呼び戦い死ぬ覚悟で毎日憎しみをかき立て大量に殺す訓練をするのが軍隊である。私もその軍隊に十九才で入隊した。過酷なしごきも暴力も上官のすることに黙って耐えてこそ死を恐れぬ兵士となる。特別少年兵十七才の鞭打ち、班長の全員殴打もすべて「上官の命令は天皇の命令」で歯が折れようが、耳が聞こえなからうが仕方ない仕打ちだ。この文章では書き足りない程である。

天皇の軍隊を再び復活させ、もう一度強い兵士を自衛隊として認めさせようとするのが自民党の憲法九条改変である。若者に愛国の名のもとに決して戦争に加担させてはならない。

(藤枝市・いけだ かおる)

### 500人会員実現に向け引き続き前進

会員拡大では、中部支部と西部支部の拡大のとりくみで連続前進を継続しています。この中で中部支部は11月20、21日で支部を分割し新たな支部を確立する準備を進めています。コロナ禍のもとでも工夫して入会呼びかけを強めながら全支部のとりくみに広げること、早期に500人会員を実現し、来年に予定されている全国大会を迎えることにしています。

### 終戦記念日で宣伝行動

8・15の終戦記念日宣伝行動として中部支部では支部役員の山田、早崎、芝田の3人で前日の14日夕藤枝駅頭でハンドマイク宣伝とビラ配布を実施。

### 本の紹介

国賠同盟伊豆支部の会員で地域九条の会の代表でもある志良以 孝さんが、最近二冊の本を著しました。◇「核戦争にひた向かう わが『国体』の背徳」◇『ものごと』の核心をとらえる

これまで学習してきたテキストを分かり易くまとめたもの。一冊九百円と千円。発行：ウインかもがわ

会員拡大と国会請願署名到達

2021・9・14現在

支部名	会員拡大					国会請願署名							
	目標	7月到達	増減	現在到達	うち夫婦会員	団体目標	7月到達	増分	現在到達	個人目標	7月到達	増分	現在到達
伊豆	30	22		22	6	50	0		0	350	0		0
沼駿	60	53		53	12	60	0		0	800	0		0
岳南	30	20		20	6	40	0		0	350	0		0
清水	50	36		36	12	60	0		0	1,100	0		0
静岡	50	36		36	2	80	2		2	500	10		10
中部	200	203	+2	205	42	100	4	+2	6	800	41	+19	60
西部	80	60	+2	62	2	80	1		1	750	5	+30	35
県本部	-	-		-		30	1		1	350	0		0
合計	500	430	+4	434	82	500	8	+2	10	5,000	56	+49	105

しずおか同盟文芸

※※ 短歌 ※※

禍の中を 平和とくらし守るため  
生きぬく人への 祈りは止まず

去年（こそ）からの 学術会議提唱の

「感染症委員会内閣府設置」を

空襲や 戦火の末に得た平和  
野戦病院でない 救急病院を

灼熱に 百日紅（さるすべり）も野ぼたんも  
身もだえる中 露草の咲く

静岡 松浦美智世

編集後記

▼菅首相は、コロナ感染対策についての国民的怨嗟の声が広がる  
もとで、ついに政権を投げ出しました。コロナ対策に専念する  
というのが本当の理由なら、野党が憲法にもとづいて要求して  
いる臨時国会をただちに開き、国民の声にこたえるべきです。

▼迫り来る総選挙を有利に運ぼうと、表紙を変えざる総裁選に集中  
する自民党に国民の命を預けるわけにはいきません。共通政策  
の旗を立てた野党が力を合わせ政権交代に進む時です。S・H

